

みなせ
●水無瀬生活貯水池事業の概要

【目的】

- ①洪水調節（一級河川木曽川水系水無瀬川の洪水防御 治水安全度：1/30）
②異常渇水時等の緊急水補給（可茂地域2市4町：700,000m³）

【施設諸元】

◆水無瀬生活貯水池

- ・位置：岐阜県加茂郡川辺町
- ・型式：重力式コンクリートダム
- ・総貯水容量：1,080,000m³
- ・治水容量：300,000m³
- ・利水容量：700,000m³
- ・堆砂容量：80,000m³
- ・堤高：43.5m
- ・堤頂長：140.0m
- ・堤体積：53,500m³

【事業費・進捗率】

- ・事業費：約60億円（残事業費）：約56億円
- ・執行済額：約4億円（平成13年度～平成20年度）（事業進捗率：6.3%）

【事業経緯】

年 度	経 緯
平成8年度	予備調査を開始
平成13年度	建設事業採択
平成22年度	国土交通大臣よりダム事業の検証に係る検討要請

【位置図・計画概要図】



●検討の内容

①洪水調節について

【現行計画】～同規模河川の県内バランスから設定～
年超過確率1/10とし、洪水を安全に流下させる。

平成16年台風第23号で岐阜県内において約900戸の床上浸水が発生したこと、平成18年に国道41号が被災したこと等を踏まえ、緊急的に平成22年から掘削護岸工を実施したことにより、当面目指すべき目標洪水（県内の同規模河川の整備計画目標規模相当（1/10））の流下が可能となった。



工事実施前



工事実施後

②異常渇水時等の緊急水補給について

【現行計画】

異常渇水時等に緊急的に浄水場に補給を行い、渇水被害の軽減を図る。

治水目的がなくなったことを受け、利水事業者から事業への参画を中止する意向が示されたため、ダムにより利水容量を確保するのではなく、河川法第53条の「渇水時における水利使用の調整」、「渇水対応タイムライン」の活用により被害の軽減を図ることとなった。

●岐阜県の対応方針

総合的に判断した結果、水無瀬生活貯水池事業は、「中止」とする。

・治水においては、河川整備計画が作成されていた場合において想定される目標と同程度の目標が掘削護岸工により達成されており、当分の間は、現在の流下能力を維持するために、河川管理施設を適切に維持管理することに努める。

・利水においては、異常渇水時には河川法53条の「渇水時における水利使用の調整」によって、岐阜東部上水道用水供給事業（可茂地域）の水源である岩屋ダムについて、木曽川水系の他の水源ダムとの総合的な運用を行うことや、「渇水対応タイムライン」を活用して渇水時の情報共有を行い渇水被害の軽減を図る。